

別紙

農林水産商工常任委員会資料

(平成22年10月6日)

項目

- 1 ガイナーレ鳥取の昇格条件と出資の検討状況について
【経済通商総室（企画調査室）】…1

商工労働部

ガイナレ鳥取の昇格条件と出資の検討状況について

平成22年10月6日

経済通商総室

企画調査室

1. J2昇格条件の一つ「JFL4位以内」の達成について

ガイナレ鳥取は、10月3日に行われたアルテ高崎戦において勝利し、7試合を残してJFL4位以内の昇格条件を達成しました。

他の昇格条件について

○平均入場者数 3000人以上(ホームゲーム)

・現在の平均入場者数 3413人 → 残りホームゲーム3試合で、3214人の入場者で達成

○債務超過の解消

・行政、民間からの増資等により取組中

2. (株)SC鳥取からの出資要請について

○ 出資要請の内容

・県への出資要請の額 2千万円

・行政への出資要請 県、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市 計7千万円

・民間への出資要請 目標6千万円

現在、出資確定及び濃厚な企業等の状況

20社程度、45百万円程度

(参考)県からの既出資状況

・出資日 平成19年8月30日

・出資額 1千万円

・原資 一般財源

・出資理由 公益性が高いクラブ理念

全県的に多様な波及効果が期待

県民・地域の一体感形成、賑わいの創出、全国への情報発信・イメージアップ、スポーツ振興、経済波及効果等

・県出資直前の資本金額 2750万円(持株会:1450万円、9企業等:1300万円)

○ 今後の検討について

・11月県議会への提案に向けて検討

・出資財源として、バードスタジアム国際交流基金の活用を検討(現基金残高:337百万円)

・(株)SC鳥取は、Jリーグより財務基盤強化を指摘されており、県として協力を検討

3. 昇格に必要な財務条件について

(ア) 債務超過なし(債務超過額 53百万円)

(イ) J2昇格後の安定的経営に必要な資金の確保 55百万円程度

～ 特に収入が少ない今季ゲーム終了時から来季期首の資金確保(借入金対応により経営悪化クラブが多いことから、今季終了時点での資金確保を実質的昇格条件として規定)

例:Jリーグ入会金2千万円、キャンプ4百万円、コーチ・選手等報酬15百万円、グッズ仕入れ5百万円、印刷物8百万円、フロント人件費3百万円)

項 目		金 額
(ア)09季終了時の債務超過額		▲53百万円
(イ)安定的経営必要資金		▲55百万円
増資計画	地方公共団体(目標値)	70百万円
	民間(目標値)	60百万円
差引		+22百万円

4. ガイナーレ鳥取に期待する効果

期待する効果	内 容
スポーツ文化の創造とサッカーの競技力向上	○見て楽しむ、参加して楽しむスポーツ文化の創造 ○地元でJリーグチーム(目標)があることによる競技力向上
県民の一体感の形成・全国への情報発信・イメージアップ	○ホームゲーム観戦、地域でのふれあい ○J2(全国)を舞台にリーグ戦を展開 ○全ゲームTV放映
経済波及効果	○経済波及効果推計 5年間 34億42百万円 (初年度:594百万円) ・鳥取県産業連関表に基づく推計(20年度推計) ・初年度入場者数4000人、後年度1割ずつ増 ○ユニホームスポンサーによる売上げ貢献 ○他のスポンサーによるイメージアップ(広告効果) ○ホームゲーム出店 現在11企業等 ○オフィシャル応援ツアー(近畿日本ツーリスト(株)) ○アウェーサポーター観戦(3/14 500人、松本山雅FC) ○SC鳥取による雇用者数48人 うち地元雇用 16人

5. (株)SC鳥取の資本金等の推移

(百万円/社)

	07季決算	08季決算	09季決算	10季見込 又は現況
資本金	51/12	64/16	91/51	120/52 (現況)
運営費	191	310	276	316 (見込)
広告収入(スポンサー等)	63/156	90/153	109/192	128/221 (見込)

・会計年度は、2月1日～翌年1月31日

6. Jリーグクラブへの地方公共団体の出資状況

(単位:チーム数)

	出資なし	出資あり	10百万円未満	10~50百万円	50~100百万円	100百万円以上	計
J1	9	9	1	5	0	3	18
J2	8	11	3	4	2	2	19
計	17	20	4	9	2	5	37